

都心循環BRTの目的

■マイカーを都心周辺部の駐車場で受け止める(フリンジパークングの確保)とともに、地下鉄等の鉄道ネットワークと連携しながら、天神・博多・WFの都心3拠点間を効率よく繋ぐことでスムーズに移動できるための新たな交通プロジェクト

⇒ 都心循環BRTの形成が、『**道路交通混雑の緩和**』と『**都心拠点間の交通ネットワークの強化**』に効果があることを確認する必要がある。

⇒ 確認するために、『試行運行』、『バス路線の再編・効率化』、『専用走行空間のあり方』を**タイミングなどの整合を図りつつ、それぞれ検討・検証**していく。

都心循環BRTの形成に向けた検討経緯

1. 行政計画上の位置づけ

■福岡市都市交通基本計画(H26.5策定)

・目標像 I, IV : 都市の骨格を形成する総合交通体系の構築, 活力ある都心部を支える交通

－方針 1 : 公共交通を主軸とした総合交通体系づくりの推進

－方針 9 : 都心拠点間の公共交通軸の形成と回遊性の向上

■福岡市総合交通戦略 (H27.3策定)

・福岡市都市交通基本計画に基づいて進めていくべき施策のうち,
市民, 企業, 事業者と行政が特に連携して取り組む必要がある実施計画

・実施施策 : 都心部における公共交通幹線軸の形成

－バスによる公共交通幹線軸の形成(都心部ルート)

2. 試行運行

■夜間試走(H27.8) : 連節バスの交差点での右左折, 停留所における停車・発車等の走行安全性の確認

■昼間試走(H28.3) : 連節バスの一般交通への影響(車線変更や右左折等)の確認

■試行運行(H28.8～)

・運行経路や乗降方法, 運賃等, 利用状況を踏まえて確認すべき連節バスの運行上の課題等の検討・検証

3. バス路線の再編・効率化

■福岡BRTシステム検討会議(H27.12設置) :

・西鉄が主体となって, 鉄道や路線バスとの乗継ぎや利用者の利便性の視点で検討

・H28年度中のとりまとめ(予定)

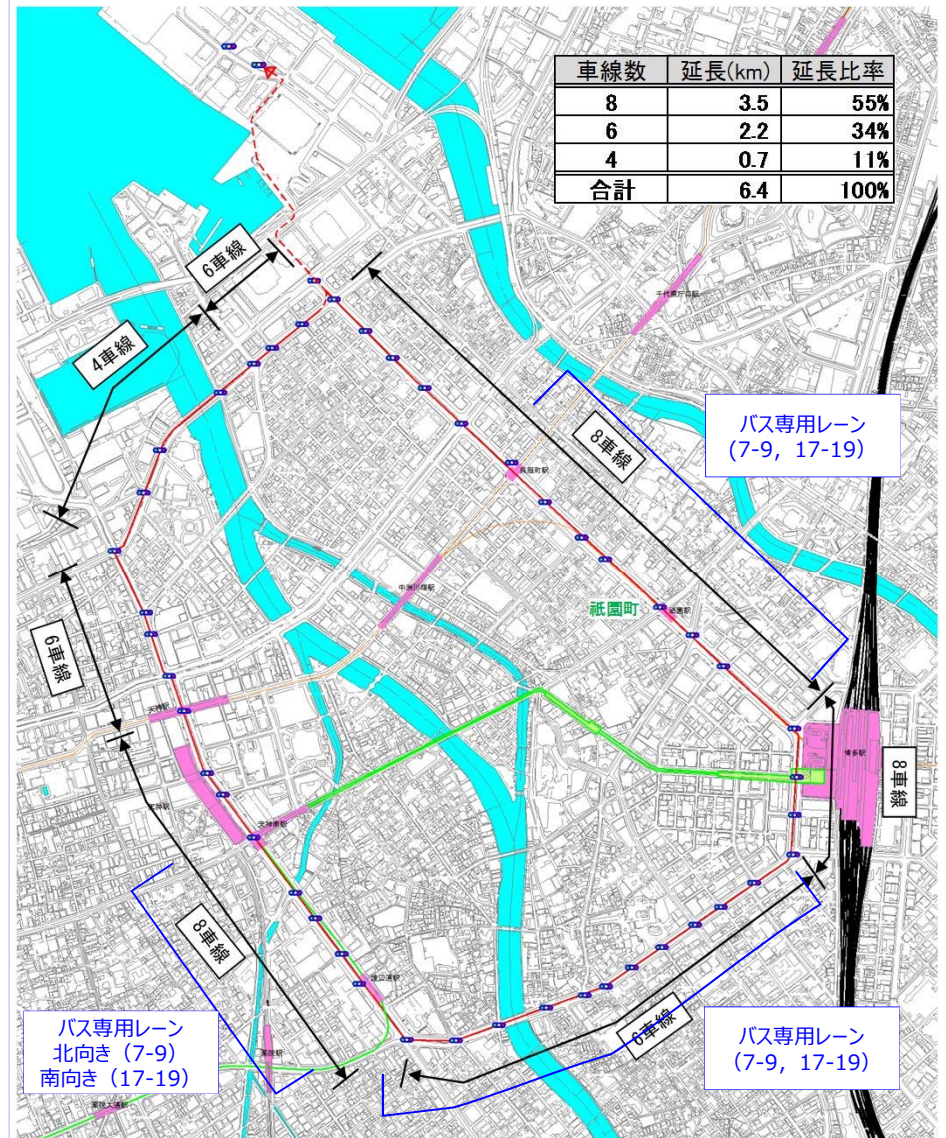
4. 専用走行空間のあり方

■福岡BRTシステム検討会議(H27.12設置) :

・福岡市が主体となって, 定時性や速達性の向上や一般交通容量減に伴う影響, 安全性の確保の視点で検討

・H28年度中のとりまとめ(予定)

<参考> 想定ルートの現状



都心循環BRTの形成に向けた取組み状況

「バス路線の再編効率化」と「専用走行空間のあり方」については、福岡BRTシステム検討会議において検討

